

令和2年5月29日

日本応用地質学会表彰の選考結果について

一般社団法人日本応用地質学会
会長 脇坂安彦

標記について、「名誉会員選考及び表彰規程」第9条に基づき、下記のとおり選考いたしましたので、お知らせ申し上げます。

記

1) 選考結果

1月20日開催の令和元年度第9回理事会において、下記3件が日本応用地質学会表彰者に決定致しました。

- ・高嶋哲夫氏（小説家）

受賞対象：自然災害に関する小説を通じた一般市民の防災意識の啓発に対して

- ・こどものためのジオ・カーニバル企画委員会

受賞対象：天文・気象・地質・環境・防災に関する実験や展示による子どもたちに地学への興味・関心を高めてもらうための長年の継続的な活動「こどものためのジオ・カーニバル」に対して

- ・学校法人 AICJ 鷗州学園 AICJ 中学・高等学校

受賞対象：広島土砂災害を契機に、一般市民の防災意識を高めることを目的とした防災絵本絵本「にげて！」の生徒と教諭が一体となった作成に対して

2) 選考理由について

- ・高嶋哲夫氏

『東京大洪水』、『首都崩壊』、『富士山噴火』などの自然災害を題材にした小説を数多く発表し、我が国の緊急の課題となっている大規模な自然災害に対して、科学的で具体的な内容でその脅威と防災への備えの重要性を説いてこられました。また、日本応用地質学会の環境地質部会主催市民フォーラムにおいて、基調講演等の機会を通じて、防災危機管理、大規模災害時の鉄則などへの提言を行うなど、一般市民の防災意識向上にも大きく貢献されてきました。この成果に対し、学会表彰を授与するものとします。

- ・こどものためのジオ・カーニバル企画委員会（委員長：廣木義久氏）

天文・気象・地質・環境・防災に関する実験や展示を通じ、将来を担う子どもたちに地学への興味・関心を高めてもらうための活動を長年にわたり継続し、自然現象を「いかに観るか」「いかに考えるのか」という姿勢の育成を行ってこられました。開催イベントは、高校生や卒業生、大学生も加えたボランティアスタッフとの活動も根付き、若手技術者の創出にも大きく貢献しています。この成果に対し、学会表彰を授与するものとします。

・AICJ 中高等学校

近年、高等学校での地学教育の場が減少するなか、広島土砂災害を契機に、生徒と教諭が一体となり、一般市民の防災意識を高めるための防災絵本「にげて！」を作成し、独自の継続学習・地域貢献プロジェクトを日本応用地質学会中国四国支部とともに完遂されました。この成果に対し、学会表彰を授与することとします。

3) 表彰方法について

・本来であれば、令和2年度定時社員総会時に表彰式を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染に係る自粛要請に鑑み、表彰式は行わず、記念品として表彰状を刻印した盾を記念品として贈呈（郵送）致します。なお、令和3年度総会（シンポジウム）開催時に受賞者及び推薦者からご講演頂く予定です。

以上